



春・夏編

あつぎ

いきもの

ちょうさたい

調査隊 2025

調査期間 2025年5月1日~7月31日

参加者数

312名

発見した種類

1279種

投稿件数

3610件

※上記の数値は、調査期間内にアプリ「Biome(バイオーム)」へ厚木市から寄せられた全投稿を集計したものです。※調査期間外に撮影された投稿、いたずら目的の投稿、標本を撮影した投稿、飼育・栽培されているものを撮影した可能性が高い投稿、登録されている種名に誤りがある可能性が高い投稿等は、集計対象から除外しています。※種類の判定・登録は一般のアプリユーザーによるものため、種類数に一部不確かな記録が含まれている可能性があります。※分類群までしか判定できなかった投稿(例:アリ科など)は、別種として種類数に含めていません。※種名が判定できなかった投稿(質問投稿)は、種類数に含めていません。

生物多様性について

「生物多様性」とは、生態系を作り出す動物や植物、微生物などのいきものが豊かで多様な様子を表す言葉です。地球上には、現在確認されているだけで約175万種のいきものがすんでおり、まだ発見されていないものも含めると、3000万種にもなるといわれています。多様ないきものによる豊かな生態系は、私たちの社会に様々な恵みをもたらし、社会活動の継続に欠かすことができないものとなっています。

投稿が多かったいきもの

1 投稿数 33件



ヒガシニホンアマガエル

2 投稿数 29件



ナガミヒナゲシ

3 投稿数 25件



ノコギリクワガタ

まめ知識

実は2種類いた!日本のアマガエル

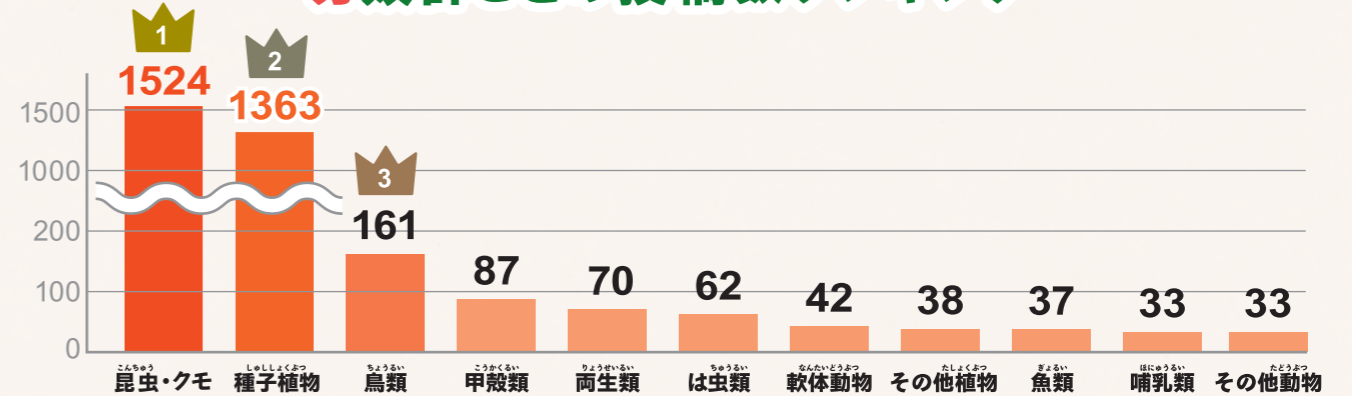
日本のアマガエルは従来1種とされていましたが、近年、近畿地方を境に「東西2種」に分類されました。両者は脚の模様等で区別でき、厚木市の個体群は東側の新種に含まれるため、本資料では「ヒガシニホンアマガエル」と表記します。

まめ知識

化学物質で在来種の成長を阻害!ナガミヒナゲシ

4~6月頃、道端で淡い橙色の花を咲かせます。根から他植物の生育を妨げる成分を出し、生態系への影響が懸念されています。茎や葉には植物毒であるアルカロイドが含まれ、かぶれる恐れがあります。絶対に素手で触らないでください。

分類群ごとの投稿数ランキング



※上記の数値は、調査期間内にアプリ「Biome(バイオーム)」にクエスト対象エリアから寄せられた全投稿を集計したものです。※発見した種類は、アプリ「Biome(バイオーム)」のデータベース上での分類に基づき集計しています。分類(科および目)レベルの投稿は別種として集計し、種名が確定しなかった投稿(質問投稿)は種類の集計に含まれておりません。※種名登録はアプリユーザー自身によるものため、一部不確かなものが含まれている可能性があります。

自然との共生を目指して

厚木市は多くの山や川に囲まれた自然豊かなまちです。これらの自然は、多様ないきものが互に関わり合うことでつくられています。市では、令和6年3月に市内の豊かな自然を保全・回復し、次世代へ継承していくための決意表明として、ネイチャーポジティブ宣言を行いました。ネイチャーポジティブ(自然再興)とは、生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せることを意味します。是非、皆さんも身近ないきものに目を向けていただき厚木市の豊かな自然を守っていきましょう。

厚木市ホームページ
くわしくはこちらから



ネイチャー
ポジティブ宣言



みんなの生物多様性
~生物多様性あつぎ戦略
2024-2030~

レアないきもの



キビタキ
スズメ目 ヒタキ科

厚木市RDB
準絶滅危惧

春になると山地の雑木林などに渡来する夏鳥です。オスの腹部と眉斑は黄色く色鮮やかです。



オオムラサキ
チョウ目 タテハチョウ科

厚木市RDB
絶滅危惧Ⅱ類

日本の国蝶として有名です。成虫は大きな翅で力強く羽ばたき、樹液に集まります。



ヒバカリ
有鱗目 ナミヘビ科

厚木市RDB
準絶滅危惧

丘陵地や山地の水辺や湿地を好む小型のヘビです。カエルやミミズ、小魚などを捕食します。

まちのいきもの



オオカマキリ
カマキリ目 カマキリ科

本州では最大のカマキリです。植物の幹などで獲物を待ち伏せし、カマのような前脚で捕食します。



ナナホシテントウ
コウチュウ目 テントウムシ科

橙色の前翅に7つの黒い斑点があるテントウムシです。危険が迫ると腹側から黄色い液体を出します。



ニホンカナヘビ
有鱗目 カナヘビ科

鱗がよく目立つトカゲの仲間です。町中や公園にも生息しており、植物などを登ることもできます。

注目のいきもの



チュウゴクアミガサハゴロモ
カメムシ目 ハゴロモ科

外来種

中国原産で近年急拡大中の外来種です。食害や産卵により果樹や街路樹等の植物が衰弱することが確認されています。幼虫は腹部から白い糸状の蠟物質の毛束を広げます。



幼虫の姿

山や森のいきもの



マルバウツギ
ミズキ目 アジサイ科

日当たりの良い山地に自生します。葉は卵のように丸く、5~6月ごろに直径1cm程の白い花を咲かせます。



ギンリョウソウ
ツツジ目 ツツジ科

キノコのように見えますが、植物の仲間です。自らは光合成をせず、菌類と共生しながら栄養を得ています。



ヤマトタマムシ
コウチュウ目 タマムシ科

神奈川県RDB
要注種

成虫は夏の初めごろから見られます。日中に樹林の高いところを飛び回り、エノキやケヤキの葉を食べます。



「全国ランドサットモザイク画像」(国土地理院)
([https://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/indst/\(z\)/\(x\)/\(y\).jpg](https://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/indst/(z)/(x)/(y).jpg)) をもとに
株式会社バイオーム作成
データソース: Landsat8画像 (GSI, TSIC, GEO Grid, AIST), Landsat8画像 (courtesy of the U.S. Geological Survey), 海底地形 (GEBCO)

川のいきもの



ゴイサギ
ペリカン目 サギ科

厚木市RDB
準絶滅危惧

成鳥の頭部や背面の濃藍色がユニークなサギの仲間です。昼間は水辺近くの茂みなどで休み、夜間に狩りを行うことが多いです。夜間にカラスのような声で鳴くため「夜鳥(よがらす)」の異名を持ちます。

外来種



ソウシチョウ
スズメ目 チメドリ科

中国南部からインドを原産とする外来種です。国内では主にササ類の発達した落葉広葉樹林などに生息します。



コジュケイ
キジ目 キジ科

中国原産の外来種です。赤褐色の胸に青灰色の斑があることが特徴で積雪の少ない地域の林に生息します。



アメリカオニアザミ
キク目 キク科

ヨーロッパ原産の外来種です。葉や茎に硬く鋭いトゲがあり1m以上の大きさまで成長することもあります。

外来種とは

外来種とは、もともとその場所に生息していなかったにも関わらず、人間の活動により、国内を含む他の地域から持ち込まれたいきものことです。環境省では特に影響が懸念されるものを以下のように指定しており、今回確認された種の一部もこれに含まれます。

- 【特定外来生物】生態系、人間の生命、農林水産業へ被害を及ぼすもの。
- 【総合対策外来種】国内に定着し、生態系被害の防止や防除が必要なもの。

厚木市ホームページ



外来種への取組について
(厚木市では駆除や啓発を行っています。)